



汐見の和

横浜市立汐見台小学校
令和5年2月24日
学校だより 3月号

【学校教育目標】人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子
電話 045-761-1561 FAX 045-754-6409
ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shiomidai/>



願いが織り成す学校

校長 犬塚 真

2月半ばの朝、学校に到着すると、池の手前にある梅の木に咲き始めた白い花に目が留まり、近づけば足元には霜柱、冬と春が混在する希少な時間にしばし身を置くことができました。氷点下に冷え込む朝もこのころまでだったのででしょうか、3月を前にあたたかな日が増えてきています。

この春卒業する6年生は、新校舎の完成を目前にこの学校を離れていくことになります。そのような中、何とかして新しい校舎に足を踏み入れたいという子どもたちの願いが実現しました。建築局や教育委員会施設課の方々、工事関係者の皆様が力を合わせて子どもたちを工事現場に招いてくれたのです。工事中ではありますが、躯体は出来上がっており、1階から3階までの各階を見学することができました。ヘルメットをかぶり、内装工事などが施される過程を見せていただいた見学はここでしかできない貴重な体験でした。

横浜は坂の多いまちですから傾斜地に設置された学校も多くあります。ですが、一つの校舎が段差をまたいで建てられている学校は珍しいと思います。旧校舎には地形に沿って約6メートルの段差をつなぐ階段がありました。壁面にはかつての卒業生が制作したおとぎ話の絵が飾られていたことから「おとぎの階段」とも呼ばれていました。その階段が汐見台小学校の象徴的な構造であったこともあり、新校舎にも折り返すことなくまっすぐに段差をつなぐ大きな階段が設けられています。「昔の校舎のおとぎの階段を思い出して懐かしくなりました。」という子どもたちの感想に、設計の方も喜ばれていました。

汐見台小学校の校舎建替えが決まったのは平成29年。当時の記録を見返すと、この年に地域の方も交えた建替えの検討会を発足し、基本的な設計が決まっていたようです。安心・安全で機能的な校舎は、地域の皆様の願いでもありました。

さて、子どもたちもたくさんの願いをもって生きています。その中には、先生に褒められたい、〇〇ができるようになりたい、こんな人になりたいといった自己の成長に対する願いも多くあります。子どもたちは皆、もっとよく在りたいと心のどこかで願っているのだと私は思います。

幼少期には山のようにあった願いが、いつしか妥協やあきらめにとってかわり、やがて枯渇してしまわないようにしっかりと支えいきたいものです。そのためには、好奇心を満たすこと、できた・わかったという喜びをたくさん味わわせること、一人ひとりを価値ある存在として認めることなどをとおして、子どもたちの願いが叶う体験をできるだけ多く積ませていくことが必要なのだと思います。

また、子どもの成長や子どもたちを取り巻く社会の在り方に向けた大人としての願いもあります。今後も保護者の皆様、地域の皆様と手を携えながら、それぞれの願いが織り成すような学校づくりを進めていかれたらと考えています。

最後になりましたが、今年度も皆様にはたいへんお世話になりました。あらためて深く御礼申し上げます。